



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月5日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4368 URL http://www.fusokk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤澤 良太
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 榎本 修三 TEL 06-6203-4773
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	23,597	7.0	3,961	52.9	4,062	54.3	2,558	59.9
26年3月期第3四半期	22,052	6.1	2,591	△6.5	2,632	△3.2	1,599	△3.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,907万円 (50.1%) 26年3月期第3四半期 2,603百万円 (30.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	81.21	—
26年3月期第3四半期	50.78	—

(注) 当社は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	38,334	29,596	77.2	939.31
26年3月期	33,854	26,152	77.2	829.97

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 29,592百万円 26年3月期 26,148百万円

(注) 当社は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
27年3月期	—	40.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成27年3月期(予想)期末配当金については、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株を5株に分割した株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,300	10.1	4,700	32.8	4,800	33.8	3,000	32.8	95.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

平成27年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株を5株に分割した株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	31,511,000株	26年3月期	31,511,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	6,955株	26年3月期	6,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	31,504,415株	26年3月期3Q	31,505,230株

(注) 当社は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して前年度実績を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成26年9月12日開催の取締役会決議により、平成26年10月1日付で、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。これに伴う、平成27年3月期の配当予想および業績予想については、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政府の経済政策および金融緩和政策により円安や株高が進み、企業収益および雇用・所得環境の改善が見られました。一方、消費税率引き上げによる消費の落ち込みからの回復が遅れており、世界的な原油価格の下落、金利低下に伴うデフレ懸念もあり、依然として先行き不透明な状況も見られます。また、世界経済は、中国や新興国での経済成長率の鈍化、ウクライナ・中東情勢など、新たな不安定要素があるものの、米国経済においては、好調な企業業績・個人消費を背景に引き続き景気の改善がみられるなど、総じて緩やかな成長が継続しています。

このような状況のもと、当社グループは経営体質の更なる強化、原料の安定的な確保およびコスト競争力の強化を進めるとともに、顧客のニーズに合わせた商品開発と開発部門と一体となった国内外での積極的な営業活動に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は235億97百万円（前年同期比7.0%増、15億44百万円増）、営業利益は39億61百万円（同52.9%増、13億70百万円増）、経常利益は40億62百万円（同54.3%増、14億30百万円増）、四半期純利益は、25億58百万円（同59.9%増、9億58百万円増）となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

(ライフサイエンス事業)

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が155億22百万円（前年同期比1.1%増、1億69百万円増）、営業利益は19億3百万円（同6.2%増、1億10百万円増）となりました。

前連結会計年度中に一部子会社を売却したことによる売上高の減少はありましたが、当第3四半期より三井化学株式会社より事業承継した有機酸事業関連の販売寄与もあり、売上高は前年同期を上回りました。また、営業利益については、海外子会社財務諸表の数値が円安効果により円換算で増加したこと、継続的に主要原料価格および輸入仕入価格上昇に対応した販売価格改定を進めたこと、および各種コスト削減に努めた結果、前年同期を上回りました。

(電子材料および機能性化学品事業)

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が80億74百万円（前年同期比20.5%増、13億75百万円増）、営業利益は26億9百万円（同95.3%増、12億73百万円増）となりました。

主力製品である超高純度コロイダルシリカ関連では、スマートフォンやタブレット端末などのモバイル関連機器の旺盛な世界需要に牽引された半導体市場の安定した成長により、当社製品の出荷も好調でありました。また、半導体プロセスの微細化に伴った当社製品への需要も高く、売上高・営業利益ともに前年同期を大きく上回る結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ44億80百万円増加し、383億34百万円となりました。これは主に、三井化学からの有機酸事業承継により受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したためです。

負債については、前連結会計年度末に比べ10億36百万円増加し、87億37百万円となりました。これは主に、三井化学からの有機酸事業承継により支払手形及び買掛金が増加したためです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ34億43百万円増加し、295億96百万円となりました。これは主に、利益剰余金と為替換算調整勘定が増加したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年12月24日のプレスリリースで公表しました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、退職給付会計基準)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、退職給付適用指針)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、計算に用いる割引率は従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の投資その他の資産の「その他」に含まれる退職給付に係る資産が18百万円減少し、退職給付に係る負債が1億12百万円増加しております。また、繰延税金資産が46百万円増加し、利益剰余金が84百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,551,117	3,779,690
受取手形及び売掛金	7,633,835	9,879,146
商品及び製品	5,299,666	6,322,039
仕掛品	245,684	330,193
原材料及び貯蔵品	1,153,034	1,049,205
繰延税金資産	323,177	351,512
その他	292,262	638,964
貸倒引当金	△6,282	△6,191
流動資産合計	18,492,497	22,344,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,229,320	6,554,038
機械装置及び運搬具(純額)	3,424,135	3,322,419
土地	3,058,068	3,074,717
建設仮勘定	317,054	264,780
その他(純額)	419,366	517,465
有形固定資産合計	13,447,945	13,733,420
無形固定資産	301,976	582,766
投資その他の資産		
投資有価証券	799,525	892,231
長期前払費用	21,972	19,948
繰延税金資産	507,863	523,666
その他	413,658	390,797
貸倒引当金	△131,364	△152,936
投資その他の資産合計	1,611,655	1,673,707
固定資産合計	15,361,577	15,989,893
資産合計	33,854,074	38,334,453

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,372,767	2,594,042
短期借入金	1,588,150	1,078,600
未払金	1,399,067	1,215,951
未払法人税等	403,826	740,660
賞与引当金	315,515	193,399
役員賞与引当金	44,000	33,000
その他	322,869	663,239
流動負債合計	5,446,196	6,518,893
固定負債		
長期借入金	586,000	—
繰延税金負債	315,693	391,480
退職給付に係る負債	1,201,612	1,356,341
長期未払金	111,088	439,033
資産除去債務	9,417	9,417
その他	31,481	22,771
固定負債合計	2,255,293	2,219,045
負債合計	7,701,489	8,737,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,367	1,180,367
資本剰余金	1,667,042	1,667,042
利益剰余金	21,974,505	24,070,433
自己株式	△3,019	△3,690
株主資本合計	24,818,896	26,914,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	288,966	346,391
繰延ヘッジ損益	4,840	187
為替換算調整勘定	1,035,615	2,331,339
その他の包括利益累計額合計	1,329,423	2,677,917
少数株主持分	4,265	4,444
純資産合計	26,152,585	29,596,515
負債純資産合計	33,854,074	38,334,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	22,052,460	23,597,147
売上原価	14,111,968	15,053,078
売上総利益	7,940,491	8,544,068
販売費及び一般管理費	5,349,416	4,582,477
営業利益	2,591,074	3,961,590
営業外収益		
受取利息	6,413	7,629
受取配当金	17,049	18,665
受取手数料	11,869	12,582
為替差益	35,983	50,749
その他	21,936	32,504
営業外収益合計	93,252	122,131
営業外費用		
支払利息	48,443	16,623
その他	3,618	4,477
営業外費用合計	52,061	21,101
経常利益	2,632,265	4,062,620
特別利益		
固定資産売却益	3,296	1,161
補助金収入	9,114	—
特別利益合計	12,410	1,161
特別損失		
固定資産売却損	—	236
固定資産除却損	19,571	67,530
投資有価証券評価損	5,779	—
関係会社損失引当金繰入額	99,222	—
特別損失合計	124,572	67,766
税金等調整前四半期純利益	2,520,103	3,996,015
法人税、住民税及び事業税	874,602	1,403,356
法人税等調整額	42,627	33,548
法人税等合計	917,230	1,436,904
少数株主損益調整前四半期純利益	1,602,873	2,559,110
少数株主利益	2,941	579
四半期純利益	1,599,931	2,558,531

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,602,873	2,559,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,507	57,424
繰延ヘッジ損益	9,144	△4,653
為替換算調整勘定	936,036	1,295,723
その他の包括利益合計	1,000,688	1,348,494
四半期包括利益	2,603,562	3,907,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,600,620	3,907,025
少数株主に係る四半期包括利益	2,941	579

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,520,103	3,996,015
減価償却費	1,250,324	1,469,871
のれん償却額	—	54,657
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△522	△784
賞与引当金の増減額(△は減少)	△144,891	△127,396
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,000	△11,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	60,688	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	58,254
関係会社損失引当金の増減額(△は減少)	99,222	—
受取利息及び受取配当金	△23,462	△26,295
支払利息	48,443	16,623
為替差損益(△は益)	17,705	103,875
固定資産売却損益(△は益)	△3,296	△925
固定資産除却損	19,571	67,530
投資有価証券評価損益(△は益)	5,779	—
売上債権の増減額(△は増加)	△828,077	△2,004,595
たな卸資産の増減額(△は増加)	△718,991	△60,016
仕入債務の増減額(△は減少)	476,084	1,145,200
未払金の増減額(△は減少)	△1,123	22,906
長期未払金の増減額(△は減少)	△2,790	—
その他	△152,525	268,673
小計	2,612,242	4,972,595
利息及び配当金の受取額	23,235	26,618
利息の支払額	△47,568	△17,408
法人税等の支払額	△1,433,129	△1,085,008
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,154,780	3,896,797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△83,133
定期預金の払戻による収入	—	323,220
有価証券の取得による支出	—	△323,220
有形固定資産の取得による支出	△981,170	△1,487,412
有形固定資産の売却による収入	3,296	2,795
無形固定資産の取得による支出	△33,002	△14,525
投資有価証券の取得による支出	△4,501	△4,363
短期貸付金の回収による収入	8,978	10,202
長期貸付金の回収による収入	359	480
事業譲受による支出	—	△613,524
その他	△18,386	549
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,024,425	△2,188,932

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	779,100	—
長期借入金の返済による支出	△2,207,300	△1,095,550
自己株式の取得による支出	△178	△671
配当金の支払額	△188,074	△377,691
少数株主への配当金の支払額	△400	△400
リース債務の返済による支出	△7,861	△8,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,624,715	△1,483,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	163,954	221,094
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,330,405	445,936
現金及び現金同等物の期首残高	4,606,035	3,242,357
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,275,629	3,688,293

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,353,142	6,699,318	22,052,460	—	22,052,460
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,738	102	13,841	△13,841	—
計	15,366,880	6,699,420	22,066,301	△13,841	22,052,460
セグメント利益	1,792,862	1,336,121	3,128,984	△537,910	2,591,074

(注) 1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△555,353千円、その他17,442千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,522,190	8,074,956	23,597,147	—	23,597,147
セグメント間の内部売上高又は振替高	40,667	14,391	55,059	△55,059	—
計	15,562,858	8,089,347	23,652,206	△55,059	23,597,147
セグメント利益	1,903,223	2,609,135	4,512,359	△550,768	3,961,590

(注) 1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△564,854千円、その他14,086千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフサイエンス事業」セグメントにおいて、平成26年10月に三井化学株式会社より有機酸事業を承継したことに伴い、当第3四半期連結累計期間では327,945千円のものれんが発生しております。